

匡の何分

いた。「制御できない部分が多すぎる」(小田切治世・中

「牛伏寺」地震確率上昇か

調査委 大震災で活断層再評価

政府の地震調査委員会は9日、東日本大震災を受けて

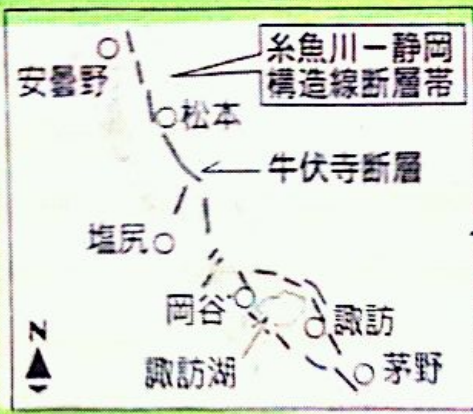
【関連記事2面に】

から福島県南相馬市にかけて

全国100余りの活断層を再評価した結果、牛伏寺断層(松本市―塩尻市)、福島第1原発に近い宮城・福島両県にまたがる双葉断層、東京都と埼玉県にまたがる立川断層帯の3カ所で、地震発生確率が高まった可能性があるとの見解を発表した。震災で地殻が動いたため、断層にかかる力が変化したのが理

由。調査委は2001年、長さ17キロの牛伏寺断層を含む糸魚川―静岡構造線断層帯で、マグニチュード(M)8程度の地震が30年以内起きる確率を14%と推定。今回の再評価の結果、具体的にどれくらい地震が起きやすくなるのかは分からないとしている。双葉断層は、宮城県亘理町

ほぼ南北に延び、福島第1原発からの距離は数十キロ。従来は100年以内にM6・8〜7・5程度の地震が発生する確率は、ほぼ0%と推定されていた。立川断層帯は、30年以内にM7・4程度の地震が起きる確率が0・5〜2%だった。



茂木・全中会長

1期3年 8月の任



茂木守氏

全国農業協同組合中央会(全中)の茂木守会長(70)は、長野県農協中央会長Ⅱが、8月の任期満了に伴い退任することになった。全中